



笑って考えよう！家庭のこと 仕事のこと ～男の家事が未来を変える～

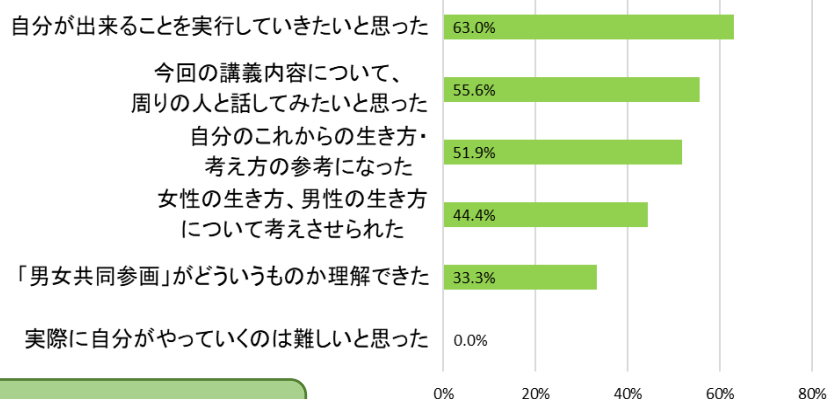


令和3年10月30日、東京大学大学院 教授 瀬地山角さんを講師に迎え、公開講座を開催しました。「笑って考えよう！家庭のこと 仕事のこと～男の家事が未来を救う～」をテーマに掲げ、共働き世帯での家事・育児時間が、6歳未満の子をもつ夫の育児時間は49分であるのに対して、妻は4時間54分と6倍以上もの開きがあることを呈示し「男性にとってのワーク・ライフ・バランスの必要性」を訴えられました。さらに、男性の自殺者の多さを考えると、経済的責任を男性だけが負うのではなく、男性の家事育児の参加が女性の勤労を支え、女性の継続就労が、“男性のいのち”を救うというメッセージをいただき深く考えさせられる御講演会となりました。



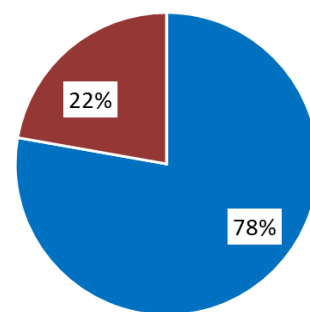
アンケート結果

◆受講してあてはまるものに○をつけてください(複数回答可)



参加者の感想

◆参加していかがでしたか？



■①大変よかった ■②よかった

現在働いている会社は、くるみやえるぼしに認定されるなど制度はたくさんできてきたものの、まだまだそれを使用できる環境にない（土木関連で残業が多い）状況ですが、本日の講演を聞いて、自分ができること（残業分は他の人や協力会社へ、朝食づくり、妻の仕事復帰への話し合い）として具体的に行動できることを考える機会を与えていただき、大変有益でした。(30代 男性)

潜在的にこれは女性の仕事と認識していたことがあったと気づきになり、今後自身の家庭や職場の部下への接し方の参考となった。(30代 男性)

女性が男性がという切り口ではなく、自分がどのように社会を生きるかということ、自分自身も考えていく必要があるし、関わる人と対話することも大切だなと思いました。子育てでも伝えていくことができるなと思って、自分がどうしたいかということをしっかり持って生きたいなと思いました！元気になった気持ちがあります。(40代 女性)

このような講座は初めてでしたが、日常に感じる違和感を具体的に解説してくださる先生のお話を聞き、大変勉強になりました。家にいながらできるzoomでの参加もありがたかったです。(40代 女性)

配偶者とともに自宅のリビングから拝聴しました。ともに総務・人事系の職種であり、日頃から悩むことの多いテーマでもあります。「今やっていること」「今考えていること」の方向性は間違っていないと確認でき、背中を押されたような気がしました。(50代 男性)

シャープな切り口で、気持ちよく明快に伝わる講義でした。男性からこのように押しyingていただくと力が湧いてきます。「忌引きと同程度に...」NICE！です。使わせていただきます。「男らしい！」ってこうありがたいものですね。30年後の災害回避のためにも。(60代 女性)